

学習会の満足度

平均評価 4.66/5



講師へのご意見・ご感想をお聞かせください

- お疲れ様でした。大変勉強になる講話でした、ありがとうございました
- 同じ学校に勤務しながら、知らないことがたくさんあって新鮮でした。今後もよろしくお願ひいたします
- 「問題行動は発達欲求」「相談する力が育つ」の視点を大切にしていきたいです
- 性教育についての学校での取り組み（年間計画や保護者への便り等）、実践例（特性に配慮をした伝え方等）のお話は大変勉強になりました。学校や保護者へ向けて参考になりました。ありがとうございました
- 児童・生徒の学びのためにパワフルに活動なさっていることに大感激です。先生方の導きと指導案や資料の提示など下準備を整えて、学校全体で性教育の推進を図っていると感じました
- 具体的な指導計画等を知ることができてとても参考になりました。漠然とどうしようかなあと思っていたのでいいヒントが見つかりました。来年度に向けて動きだそうと思います
- 年間を通して計画的に、性に関する教育をされていて素晴らしいと思いました。性教育要素表参考にしたいと思います。ありがとうございました
- 学習会後のアフターフォローが大切という所、また発達段階による問題行動も気づきの機会として大切にしているところが参考になりました。また、より詳しく事例などありましたら、知りたいです。また学校内での取り組み方も参考になりました。教員の学びの場がこれまであまりなかったのでありがたいです
- 性教育はやってみて気づきがあると思うので、ぜひ多くの先生方に実践していただきたいです。私も未だに失敗しています。が、大切なのは正しい知識（これは常にアップデートしなくてはいけない）なので、課題にもあった大人の学び教職員の学習会を充実させていただけたらと思います。まずは初めて見た大平特支の先生方の勇気とはじめるまでの苦労にお礼を言いたいです。ありがとうございました
- アンケート結果でもあったように、自分も「性教育は必要だと考えているが、どのように？」という立場でした。校務分掌や体育科が主導権を持って取り組むべきか？一人一人が？など、実施に関しても迷うことが多い分野だと感じています。そういう中で、お二人の先生方の実践事例のお話や性教育要素表などの情報提供は、とても参考になる内容でした。担当する子どもによっては、喫緊の課題となることも予想されるので、今日の学びをきっかけに、アンテナを張り、自分自身学んでいきたいと考えました。貴重なお話、ありがとうございました
- 高橋先生講話：性教育の取組を学校全体で取り組めるような仕組みが沢山ありとても刺激になりました。性教育の計画を学校保健計画に盛り込みたいと考えていましたがどのように挿入したら良いかつまずいていたのでとても参考になりました。性教育の取組を学校保健委員会で提案することもとても素晴らしく、参考にしたい内容ばかりでした。ありがとうございました
- 新田先生講話：寄宿舎では衣食住を共にする中で学校では気づかない課題が多く潜在する中で性教育の取組は、とても感動しました。グループワークを取り入れたり視覚的な教材教具や指導案とても参考になりました。ありがとうございました
- 講師の先生方の話を聞いて小中高と性教育を積み重ねて学習していくことは大切なことで、学習を通して正しい知識や情報を子どもたちが得ることで自分を守ることに繋がり、自己肯定感を高めるために必要なことだと思いました。私は寄宿舎指導員ですが所属する学校の性教育の内容をしっかりと把握していません。私の勉強不足ではありますが、学部でどのように性教育を行っているのかを把握し寄宿舎でも学校とつながりを持って性教育を進められたら子どもたちのためになるのでは…と思いました。ありがとうございました
- 性教育は、小中高が段階的かつ系統的、継続的に行う必要性があり、それを保健主事が中心となって具体的に提案し、実践していることが凄いなと感じました。本校でも、学年学部ごとに性教育を行っていますが、土台となるものがないため、指導内容や目標などがバラバラな感じがします。今回、提案してくださった性教育の要素表を基に、本校でも取り組んでいきたいと思います。お二人の発表がすごく勉強になりました。ありがとうございました
- 改めて、チームで行うことの大切さを学びました。山口さんの「何も教えずに社会に出す方が「行き過ぎた」のでは」が印象的でした。世界のスタンダードを、少しずつ、取り入れていきたいです。大平の実践に敬服いたします。ここからわーく、ワクワクしながらのネーミング、たのしそうでいいですね

- ・知的障害特別支援学級での「思春期における急な体の変化における不安や学校での性についての対処法、保護者への伝え方」など資料があれば教えていただきたいです

→ ① 思春期における急な体の変化における不安について

思春期は自分の身体の変化に不安を感じたり、心が不安定になりやすい時期です。自らの性を肯定的に捉え、豊かな人間関係を築いていく上で、避けられないテーマだと考えます。ただ、このような身体の変化（それに伴う心の変化）、メカニズムについて科学的に学ぶことは、少なからず不安を軽減することにつながると思います。また、性について学んだ後に個別に話し合う機会を設け、生徒の不安を聴き共感することで、信頼関係を構築することも重要です。さらに、生徒の課題を教師が一人で抱えるのではなく、（生徒に意思確認をして）サポーターを増やしチームで支援できるよう体制を整えることも大切だと考えます

→ ② 学校での性についての対処法

学校における対処法は、事例に応じて個別的に考えるべきものです。ただ、性について学ぶことは不適切な行動への予防策になると考えます。性行動を発達欲求として捉え、適切な対応ができるよう学び直し（確認）が必要となります。その際、「否定しないこと」を意識しています。その「行動」を否定しているつもりでも、子どもは「自分」を否定されたように感じることもあるからです。ただし、やってはいけない行為は正しく伝えるようにしています

→ ③ 保護者への伝え方

保護者への伝え方には特に気を遣うよう心がけています。障害のある子どもを持つ保護者の中には、十分に障害受容ができていない、子どもの性の芽生えを認めたくない方もおられます。とりわけ問題行動や迷惑行為を起こしてしまった時には、ショックを受けたり悲観的になりがちです。厳しすぎる躰や家庭での虐待につながるケースもあるため、伝え方には配慮が必要です。まず、性行動は子どもの成長過程で起こり得るということ、感情ではなく科学的に正しく伝えることが大切です。また実際になぜそのような行動をしたのか（するのか）、その背景や動機を正しく説明することで、子どもの性行動について理解を促すことができると思います。子どもへの指導と親支援をセットで考えることがとても重要です

- ・「性教育要素表」は何を参考にされたのですか。性器の洗い方を模型を使って具体的に学習していたのがいいなと思いました。子どもたちや保護者たちからの感想がありましたら、教えていただきたいです。お疲れ様でした。ありがとうございました

→ ① 性教育要素表について

要素表は、以下の文献を参考に作成しています

- ・ 浅井春夫『はじめよう！性教育 ～すべてのこどもが性を学ぶための入門書～』2012年、ボーダーインク
- ・ 伊藤修毅『イラスト版 発達に遅れのある子どもと学ぶ性のはなし：子どもとマスターする性のしくみ・いのちの大切さ』2013年、合同出版

→ ② 性器の洗い方の学習について

性器の洗い方について学ぶための模型は、担当職員がご自身で考えて制作されたとのこと。以下、参考資料として書籍を紹介させていただきます。

- ・ 南正子・黒瀬久美子『楽しい性教育 手作りの教材の作り方・いかし方』2002年、ハートブレイク

寄宿舎の心と体の学習会（精通・射精、初潮・月経）における生徒の感想について、以下にご紹介します

- ・ 生理の時には、ちゃんと毎回交換しないとダメだと思いました
- ・ 家でも、たまに本で勉強しています
- ・ 難しかったです ・ 嫌かったです
- ・ 元々わかっていたから、勉強しなくてもいいと思った
- ・ 夢精することを初めて知った。もし夢精したら、ちゃんと処理したいと思った
- ・ 入浴中に性器を剥いて洗ってみたら、痛みはなくきれいにできたと思う
- ・ ちゃんと性器の皮を剥いて洗うのは初めてで、今後も清潔にしたい
- ・ 生理については知っている（姉や母がくるしそうにしている）
- ・ 性器を洗った時、自分の性器に垢がたくさんあり、びっくりした

性を苦手とする（性に関する学習をすることに抵抗感のある）生徒には一般的に次のようなタイプがいると思われます。

- ・ 恥ずかしがる：異性と一緒に学ぶことに恥ずかしを感じたり、自分の身体について聞くことが恥ずかしいなど、思春期特有の反応として多くみられる
- ・ 否定する・否定的に考える：幼い時に家族や友達にかけられた言葉（さわったら汚いなど）や経験から、そのように自然に考えてしまう。また性自認や性的指向に悩んでいると、このような学習をする心の余裕がない場合もある
- ・ 恐怖する：性的虐待を受けたことがある場合など

生徒がなぜ抵抗感を示すのか、その背景を探り個に合わせた対応を考えることが重要だと考えます

- お二人ともお疲れ様でした。千賀さんの研修の成果と保健主事として学校全体に広めるやり方はとても素晴らしいです！睦月さんも今までの積み重ねを大平でも発揮していただいていると嬉しくなりました。そんなお二人に提案です。「性の多様性」に関して、渡辺大輔さんの講座を聴いて得た知識ですが、「女らしさ、男らしさ」だけではなく、「自分らしさ、あなたらしさ」でさえも縛りになるので、「らしさ」はやめましょうという提案です。おそらく、次回の竹内さんも「自分らしく」を全面に出してくると思われそうですが、性教育は日々発展しています。「らしさ」からの脱却も子どもに伝えていきましょう。今日のお話は詳細には触れられていませんが、やはり知的障害児にもわかりやすいようにと性別二元論が目立つのは気になります。学校全体での取り組みは素晴らしいと思いましたが、教える教員の立ち位置はやはりある程度統一しないと、せっかくの性教育が逆効果になる場合があります。（睦月さんがお話ししてくれた事例しかり）指導案の提案はありがたいですが、そこにある真意までしっかり伝えていける手立ては立てられているのでしょうか。まかせておいたら「ダメダメ教育」になっていたということは避けたいです。職員研修、お手伝いしますのでぜひやりましょう！みんなで学んで子どもだけでなく、大人（教師や保護者）もゆたかな性と生を送りましょう。今後もよろしくお願ひします

→ 科学的知識として男女の違いを学ぶことは、性教育において重要な要素だと考えますが、「男らしさ」や「女らしさ」といったジェンダーバイアスについてはご指摘の通りだと思います。また、結果として子ども達を追い詰めてしまうような、障害特性や実態に合わない内容や方法についても配慮が必要です。デリケートな話題を取り上げるからこそ、子ども達へのミスリードがないよう、使用する言葉や用語には細心の注意が必要だと感じました。貴重な問題提起に感謝いたします。

「自分らしさ」や「あなたらしさ」さえ縛りになる、そのような指摘があることは知りませんでした。まだまだ知識が足りなかったと反省しております。今後も新しい情報を取り入れつつ、目の前の子どもたちから学ぶ姿勢を忘れずに参りたいと思います。

今回ご紹介したかったのは、学校全体として性教育の取り組みを始めるということ、言うなれば「全員の一步」を大切に作る取り組みです。指導案や手立てについては、当然改善の余地があるかと思ひます。今後ともご指導よろしくお願ひいたします

今後の学習会の内容・企画等について、研究会へのご要望があればお聞かせください

- 特にありません
- 特にありません。お疲れ様でした
- このような学びの場が県主催であるといいですね（短期研修とか…）
- とてもいい内容で良かったです。ありがとうございます
- 今年度だけでなく、次年度も継続してこの学習会を開催してほしいです。そこに参加したいです！素晴らしい取り組みに踏み出していただきありがとうございます。本当に感謝しています
- 次回の学習会でまた多くの学びのヒントをいただき、本校の職員や生徒に還元していきたいです
- 素晴らしい企画だと思います。次回も参加させていただきます。申込方法を教えてください。

→ 本学習会のお知らせとポスターは県内の各小・中学校、特別支援学校へメールにてご案内し、また沖特研ホームページにも掲載しております。下記のURLまたはQRコードをご参照ください。次回以降のご参加もお待ちしています

<http://bit.ly/3kCvcIw>



問い合わせ



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和4年度 事務局
山口飛・桑江広太
徳森愛・玉城百合香
廣渡善治・石川敦

TEL : 098-877-4941 / FAX : 098-876-4148

MAIL : okitokuken@as.open.ed.jp

沖特研HP : <http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

研究大会HP : <https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren>

